

科目番号	52121	分類	助産管理学	履修者	高度実践助産コース	学年
科目名	地域助産活動論 (Advanced Community Midwifery Activities)					1
	配当セシスター					
	後期					
担当者	○平出 美栄子、宮崎 文子 山本 詩子、土屋 清	区分	助産師プログラム	必修	単位	時間数 2 30

授業の概要および目標		学位授与の方針との関連
【概要】		○ 1.自律して自然分娩の支援ができる能力
ここでは、助産師の開業権を生かし母子および家族のニーズに沿った地域助産活動とは何か。また地域を拠点とする自営業としての実際の助産所の経営管理について学び、これらを踏まえて助産所開業計画を立案し、効果的な医療連携システム（他職種含む）のあり方を検討・考察する。		○ 2.院内・院外助産システムを担うことができる能力
【目標】		○ 3.女性の生涯庭わたる健康を支援できる能力
1. 母子及び家庭のニーズに沿った地域助産活動とは何かを理解する（行政施策の動向を含む）。		○ 4.周産期の救急時に対応できる能力
2. 日本の助産所経営の現状と特質を理解する。		○ 5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力
3. マーケティング理論と戦略		○ 6.研究・開発能力
4. 助産所の経営管理、特に財務管理（損益分岐点分析と演習）について学ぶ。		○ 7.倫理的意思決定能力
5. 助産業務の安全性（判断基準と救急支援システム）について理解する。		
6. 医療事故と助産師（関連法規との関連）について理解する。		
7. 「いいお産」の実現のために：フーリングバースの実践力（演習）を身につける。		
8. 開業助産所の運営の実際（財務、人的資源管理、包括的指示の基での医行為、地域貢献）について学ぶ。		

授業計画		
回	内容	担当教員
1回	地域助産活動論のガイダンスー行政施策の動向と助産師	宮崎
2回	日本の助産所経営の現状と特質	
3回	マーケティング理論の応用と戦略（なぜマーケティングが必要か）	
4回	経営管理、特に財務管理（損益分岐点分析）について	
5回	損益分岐点分析の演習（事例を通して）	
6回	問題解決法（顧客減少をマッキンゼー流分析で学ぶ）	
7回	開業助産所の運営と助産ケア（現地講義①）	山本
8回	開業助産所の運営と助産ケア（現地講義②）	
9回	地域医療連携システム論ー地域医療連携の役割（判断基準と救急支援システム等）	
10回	地域医療連携システム論ー地域医療連携の動向	土屋
11回	助産院マーケティングとマネジメント	
12回	開業助産所の運営の実際（財務、人材育成、医行為、地域貢献）	平出
13回	「いいお産」の実現のために：フーリングバースの理論と実際（妊婦健診からフリースタイル分娩介助法まで一演習含む）	
14回	助産所開業計画を立案し、効果的医療連携システムのあり方の検討・考察。	
15回	助産所実習時にレポートして提出（5月8日）・評価 ＊講義内容の順番については変更あり	宮崎
事前・事後学習	事前学習：各回の必須図書で該当する部分を読んでくる。 事後学習：配布資料を復習する。また、場合によってはレポートを課す。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。	
評価の方法	レポート フィードバックは適宜行う。	
参考図書・資料等	授業の都度資料配布 ◎新版 助産師業務要覧 実践編 第2版、福井トシ子 日本看護協会出版会、2016 ◎初めて学ぶマーケティングー現代のマーケティング戦略ー薄井和夫著、大月書店、2003 ◎助産所開業マニュアル 2013年度版：日本助産師会出版、2013. ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。	
備考	オフィスアワーについては学生便覧を参照し教員と日程調整をする。	